

第3号議案 会費額の変更についての件

定款第6条に、会員の種別について下記の内容で規定している。より多くの個人、団体の賛同を得て、団体運営が実現できるように、賛同会員の会費額を、個人3,000円、団体5,000円とすることを提案します。なお、運営会員の会費額については、これまで同様に個人5,000円、団体10,000円とします。

この法人の会員は、次の2種とし、運営会員をもって特定非営利活動促進法(平成10年法律第7号。以下「法」という。)上の社員とする。

- (1) 運営会員 この法人の目的に賛同して加入し、かつ運営参加する任意の団体又は法人及び個人。
- (2) 賛同会員 この法人の目的に賛同して加入し、会費を納めることで資金的にこの法人を支える任意の団体又は法人及び個人。

第4号議案 2022年度事業計画案及び予算案に関する件

昨年度から取り組んでいる「ちばし地域づくり大学校」企画運営事業は、3年間の継続実施を予定しています。受講者が市民活動や地域活動への理解を深め、参加のきっかけを得て、主体的に活動ができるように継続したサポートをします。また、四街道市地域づくりコーディネーター委託事業は、13年目となり、これまでの実績からさらに、新しい視点を取り入れた地域づくり支援を展開します。

1. 組織の運営

認定NPO法人として継続して認定され(令和4年/2/22~令和9年/2/21)、さらに市民主体の地域づくりの仕組みを広げます。会員団体との協力・連携を積極的にすすめるため、情報提供・発信をして、県内のNPO活動への理解、共感を広めます。また継続して寄附や賛同会員を募り地域づくりへの参加を働きかけます。

- ・ 賛同会費金額を減額することで加入しやすくし、相談、講座参加者など関わりを持つ機会を捉え、会員加入を呼びかけます。
- ・ 理事会は、年5回開催、新型コロナ感染状況によりオンライン開催も考慮します。
 - 第1回:7月21日(木)・年間事業計画の具体的な進め方について
 - 第2回:9月15日(木)・中間報告と下期の進め方について
 - 第3回:12月15日(木)・年度末までの計画について
 - 第4回:3月16日(木)・今年度報告、次年度計画について
 - 第5回:5月18日(木)・第23回総会議案について
- ・ 事務局運営は、各事業を複数で担当し、事務局会議を開催(月2回)、事業の進捗確認や課題共有をします。また、新規スタッフを公募・採用し、継続した運営を行います。

2. 相談事業・NPOの支援事業

① 相談事業

- ・ 団体運営に関わる相談は電話、メール、面談等で常時受け付け、内容によっては専門家(税理士、社会保険労務士、弁護士)の協力を得て対応します。
- ・ NPOの事務力(会計処理、労務管理、法務局・所轄庁手続き等)をサポートするために団体内で共有し専門性を高めます。
- ・ NPO個別の運営課題について、出張相談対応「出かけてサポート」事業を実施します。
- ・ 行政の市民協働、市民活動推進に関わる施策やセミナー企画等の相談に対応します。
- ・ ちばソーシャルビジネス支援ネットワークに参画し、公益財団法人ちばのWA地域づくり基金、日本政策金融公庫、中央労働金庫、千葉信用金庫、銚子信用金庫、東京ベイ信用金庫と協力し、NPOの資金調達(助成金、融資)、設立等の相談に対応します。「ソーシャルビジネス相談会」の開催に協力します。

② 講座事業

- ・ 令和4年度地域人材育成事業「ちばし地域づくり大学校」(千葉市高齢福祉課主催)を受託、地域福祉活動の担い手を育成する基礎コース(20名×2クラス)、入門コース(20名×1クラス)、リーダーを養成するステップアップコース(30名×1クラス)を企画運営します。修了者が地域活動に参加し、地域づくりの担い手となることを目指します。
- ・ 「千葉県市民活動団体マネジメント事業」に企画提案、NPOや法人の事務力を高め、社会的な信用度を向上させるため適正な運営ができる団体を増やします。参加者同士の交流、学び合いにつながる内容とします。また、講座終了後に個別相談でサポートします。

③ 講師派遣

- ・ 各市が開催する市民活動参加を促すための「市民活動セミナー」に講師を派遣します。
(千葉市、コミュニティカレッジさくら、習志野市市民カレッジ、とみさと協働塾)
- ・ NPOのマネジメントに関する講師を派遣します。

3. 地域づくりのコーディネート事業

① 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業

- みんなで地域づくりセンター運営事業は2023年まで受託、コーディネーター5名、サポートスタッフ3名体制で市政推進課と協働して取組みます。コーディネーター会議は毎月2回開催し、事業の企画・進捗管理・課題の共有をもとに日常業務をすすめます。地域課題への取り組みのプロデュースと地域づくりを担う主体のネットワークづくりについて重点的に実施します。
- ・ 自治会情報交換会を再開し、これまで2年間のコロナ禍で停滞した活動もありオンラインの活用をすすめます。(オンライン講座、オンラインを使った情報交換会)
 - ・ 四街道市地域支え合い推進会議に参画し、地域包括支援センター等関係機関と協力します。
 - ・ 子どもサポートプロジェクト、子ども見守りサポーター養成講座、子ども支援交流会・円卓会議、見学会の活動を深め、子どもを取り巻く様々な課題に対して、行政や関係機関とも連携して話し合う場を開きます。
 - ・ アートを活かしたまちづくりをテーマに、まちの中にある身近なアートに注目することで、地域に愛着が湧くまちづくりを進めます。
 - ・ 「大きなテーブル」は福祉施設の紹介・販売のみでなく、他団体、他事業者、市民とのつながりをつくることを目指し、実行委員会で取組みます。大きなテーブルは、5/21と秋はちばユニバーサル農業フェスタ11/26で開催します。
 - ・ ちばユニバーサル農業フェスタを地域の連携を進める事業として協力します。
 - ・ 「コラボ四街道」(協働事業提案制度)実施事業のサポートや市民活動団体からの新しい企画提案を促すために、「コラボ推進プロジェクト」で地域のキーマンへのヒアリングを通して、新規の提案事業・団体を掘り起こします。「コラボ塾」では、活動事例研究や助成金を活用するための学習会を開催します。
 - ・ 「みんなで災害支援ネットワーク」のメンバー相互の交流をはかり、平時から声を掛け合える関係づくりを市民団体、行政、社協(ボランティアセンター)と連携、学習会や情報交換、情報収集を行います。(オープンチャットLINEグループ活用)
 - ・ 情報誌『みんなで』(32号~35号)4回発行し、より多くの市民に地域づくりの情報を届けます。
 - ・ ホームページ、ブログ、Facebook、ツイッター、インスタグラムなどを活用し、地域づくり情報を効果的に発信します。ホームページのリニューアルに取り組みます。(9月オープン予定)
 - ・ オンラインによる新しい情報発信やコミュニケーションの方法の活用を進めます。

② 福島県避難者支援、相談事業

- ・ 「福島県県外避難者への相談・交流・説明会」事業を継続し、福島県から千葉県内に避難して

いる方たち（1,423名）へ情報提供、相談対応を行うとともに、地域へ出向き小さな交流会を開催し孤立を防止します。県内の支援活動団体間（6団体）でイベント、サロン開催等の支援情報や避難者の状況について情報交換し、支援力を高めます。県内の避難者に配布する情報紙「縁joy」を隔月（No.84～No.88）各2,000部発行、当事者に届けます。

- ・福島県避難者住宅確保・移転サポート事業では、自主避難者家賃補助終了に伴う住宅に関する相談を受け、福島県担当者や福島県復興支援員と連携して取組みます。

③ 多世代交流拠点「おおなみこなみ」運営事業

- ・開設から9年目（自主事業4年目）となり、ボランティアスタッフの意欲的な協力で継続します。生活クラブ子ども食堂基金助成を受けて「あおぞら市」を開催します。引き続きコロナ感染防止対策をはかり、介護予防の健康体操、オレンジカフェ、シニア英会話、検見川の歴史講座等、場を活用して人々の交流を図ります。
- ・JFSAやせっけんの街、県内の福祉事業所5団体の協力を得て、販売事業を継続します。
- ・生活クラブ千葉グループ「安心システム街の縁側」に登録します。

④ 災害支援ネットワークちば（CVOAD）事務局について

千葉県内の中間支援組織や社会福祉協議会、自治体など多様な主体とともに、平時からのつながりをつくり、災害時にスムーズな支援活動ができることをめざします。三者連携（行政、社協、NPO）や他地域の事例から学ぶ学習会や意見交換会などをおして、交流を図りながら活動を広めます。

⑤ 全国ボランティア推進団体会議「民ボラ」開催について

ボランティアを推し進めるうえでのさまざまな課題を協議、ボランティア推進団体、中間支援団体などの役割、運営のあり方を考える場として開催、NPOクラブは世話人団体です。今年度は「民ボラin東京」テーマは「市民の声は社会を変えられるのか？」5/28,29開催。

⑥ 生活クラブ安心システム地域づくり（コミュニティデザイン）事業について

社会福祉法人生活クラブから受託し、風の村さくらがある佐倉市内郷地区でコミュニティデザインの手法により、住民の主体性を掘り起こす地域づくりを行います。地域資源を見える化し、地域の人から話を聴き、新しい地域活動を生み出します。（2021/9月～2023/8月）

⑦ SAVEJAPAN プロジェクト事業について

この事業は、損保ジャパン、日本NPOセンター、全国の環境保全団体、中間支援団体が協働で取り組み、「みんなで守ろう！日本の希少生物種と自然環境」を目的に2021年度9月からスタートしています。千葉県では、NPO法人ちば環境情報センターと「千葉市内に残された谷津田の命の賑わいとつながり」をテーマに継続して実施します。

4. 広報事業

- ・ニュースレター「つぎの一步くん」各号テーマを決めて編集、年4回（7月、10月、1月、4月）各800部を発行します。会員に配布する以外に県内市町村市民活動サポートセンターや行政担当窓口、全国の中間支援組織などに送付します。
- ・メールマガジンは会員など115名宛に配信。掲載する情報はNPOクラブが主催するセミナーや会員、行政、関係機関からの助成金、イベント情報等を収集し提供します。講座参加者・団体など配信先を適時追加し、より広く情報提供します。
- ・千葉の公益ポータルサイト「ちばNPO情報館」の登録団体（112団体）には、各団体の公開情報の更新を呼びかけ、メールによる情報提供を行います。
- ・団体ホームページ、「ちばし地域づくり大学校」ホームページ、団体のブログ「NPOクラブのゆかいな仲間たち」「縁joy東北～エンジョイ東北」を適時更新します。
- ・団体、おおなみこなみ、CVOADのFacebookページや団体のTwitterでは、主催するイベント、

セミナー等の開催案内や活動状況を動画なども活用しながら効果的に情報発信し、広く参加を呼びかけます。

- ・ 千葉日報社の情報ポータルサイト「ちばとぴ！チャンネル」内の「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」に記事提供、より広い層が市民活動に関心を持てるよう情報発信を行います。

5. 他組織、他団体の事務局運営事業

- ・ NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局を担い、第12回ちばユニバーサル農業フェスタを11月26日（土）に四街道市文化センターで開催予定、また道の駅 発酵の里こうざきでの開催を検討します。ユニバーサル農業の課題である販路拡大を目的に、(株)生活クラブ・スピリッツのカatalog事業に商品を紹介します。

6. 行政、他組織との連携・協力事業

- ・ 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が実施する寄付募集プログラムや助成プログラムの広報等に協力します。
- ・ 生活クラブ千葉グループ協議会に参画し、情報交換や交流し地域づくりに貢献します。つながる経済フォーラム世話人会、ちば社会的連帯経済研究所の活動に協力します。
- ・ 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参画し、県・市町の市民活動センターや中間支援組織との連携を図り、支援力の強化をすすめます。
- ・ 千葉県社会福祉協議会の政策調整委員、千葉県地域ぐるみ福祉振興基金助成事業運営委員に就任します。
- ・ 千葉県高齢者保健福祉計画策定・推進協議会委員に就任し、千葉県内の地域福祉の推進に協力します。
- ・ 県・市の市民参加、協働関連の委員等の就任要請に対応します。関連する施策や制度について中間支援組織の立場から発言し、協働による地域づくりに貢献します。
松戸市協働のまちづくり協議会、印西市まちづくりファンド選考委員会、大網白里市住民協働事業審査会、千葉市緑区補助金審査アドバイザー、習志野市協働推進委員会、市原市市民活動・協働推進委員
- ・ NPO 法人千葉県障害者就労事業振興センター監事（勝又）、
NPO 法人ほっとハート監事、生活クラブ生協千葉監事（鍋嶋）に就任します。

『2022 年度活動予算案』

- ・ 事業収益合計：33,840,000 円、事業費は 28,551,200 円、管理費は 5,287,000 円
経常費用合計：33,838,200 円 経常損益：1,800 円
- ・ 役員報酬額について総会での決議事項となっています。
代表理事：2,512,800 円
副代表理事、専務理事 2,616,000 円

収入として予算化した内容は以下になります。（その他付随収入は除く） 33,832,000 円

- ・ 賛同会費 450,000 円、寄附収入 400,000 円、運営会費収入 450,000 円
- ・ 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業 9,967,650 円
- ・ 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業 7,308,750 円
- ・ 避難者住宅確保・移転サポート業務委託 350,000 円
- ・ ちばし地域づくり大学校 10,896,000 円

- 千葉県市民活動団体マネジメント事業 952,600 円
- SAVE JAPAN プロジェクト事業 1,500,000 円
- おおなみこなみ運営事業 925,000 円
- 事務受託事業 132,000 円
- その他事業収入（講師派遣、委員謝金等） 500,000 円